

平成28年12月21日(水)

老球の細道292号

バスケットボール、125歳の誕生日！

会津バスケットボール協会 室井 富仁

「12月21日」はバスケットボールの誕生日である。バスケットボールをこよなく愛している人で、「12月21日」をキリスト誕生日のクリスマスより重視している人はどれほどいるだろうか。クリスマスにはケーキを食べるが、21日にケーキを食べてお祝いをする人はいるだろうか。21日ケーキを食べ過ぎて24日は「クルシミマス」。

バスケットボールは1891年12月21日11時半に、アメリカはマサチューセッツ州スプリングフィールドにあった「国際YMCAトレーニングスクール(現スプリングフィールド大学)」で誕生した。今年生誕125年を迎える。

世界で初めてのバスケットボールゲームは、15メートル×11メートルの狭いコートで日本人留学生石川源三郎を含む18人の学生により9対9で行われた。ボールはサッカーボール、ゴールは桃の入れる桶を体育館のギャラリーに3.05メートルの高さにセットされた(現在も同じ高さ)。13か条のルールにより50分にわたるラフプレイ続出のゲーム内容で、時間終了間際の1ゴールでゲームオーバーになったという。

このバスケットボールはその後YMCAの伝導によって世界中に広まった。現在バスケットボールの競技人口は4億人強で世界NO1である。ちなみにサッカーは2億5千万人、テニス1億人、ラグビー2千万人である。アメリカには4大スポーツ(野球、アメフト、アイスホッケー、バスケットボール)があるが、その中でバスケットボールだけが世界のメジャースポーツに発展してきた。それはなぜだろうか。

歴史の分岐点はバルセロナ五輪。NBAドリームチームの出場によって、わずか20年足らずでバスケットボールは世界NO1のスポーツとなった。そのプロセスでバスケットボールの世界布教に関わった3人の伝道師を忘れてはいけない。

一人は、我らが「マイケル・ジョーダン」である。ネイスミスと並び普及の面では最大の功労者だろう。ノースカロライナ大学でNCAA優勝をスタートに、NBAではシカゴブルズで3連覇を2回。現役時代スポーツ選手では世界NO1の高給取りになった。マイケルジョーダンの出現によって、バスケットの面白さ、素晴らしさをバスケットボール関係者以外にも知らしめた。その功績は偉大である。

二人目は、元NBAコミッショナー「デビット・スターン」である。NBAの法律顧問から第4代コミッショナーになり、サラリーキャップ制の導入、バルセロナ五輪にドリームチーム参加の実現などに尽力し、プロスポーツ界最高のコミッショナーと称された。

三人目は、スポーツ品メーカー「ナイキ」の社長「フィル・ナイト」である。もともとは陸上競技のシューズなどを販売していたが、1985年にバスケットボールシューズ「エア・ジョーダン」を販売し、マイケルジョーダンをモデルにして売り出した。1年に1回モデルチェンジをして世界中で爆発的な流行となった。と同時にバスケットボールの人気も世界中に広まった。

歴史を知ることによってバスケットボールをさらに深く愛せるようになる。また、コーチにとっては、選手に「なぜ？」と聞かれた時に答えることができる。

「歴史とは、現在と過去との間に尽きることを知らぬ対話である」(E・H・カー)